

新たに邑南町 小型風力発電

いこの村しまねに設置するものと同型の小型風力発電機(リアムウインド提供)



電力会社の設置や再生可能エネルギーの導入で脱炭素の取り組みを進める島根県邑南町内で、町が新たに

小型風力発電機1基を導入

する。このほど着工し、今

春以降に稼働する予定で、

設置する同町高水の「いこ

いの村しまね」の電力の一部を賄う。

導入する風車は、福岡市の大学ベンチャー企業が製造したレンズ風車(高さ14.5m、幅3.6m、定格出力3.5kw)。発電能力が同じ大きさの風車よりも高く、かつ音が静かだという。

町は民間事業者と電力会社を立ち上げ、町内5施設で太陽光発電や地熱を生かした空調、融雪設備の導入など、多様なエネルギー活用計画を進める。町は風車を脱炭素のシンボリックな位置付けとする考え。町地域みらい課の田村哲課長は「町民に多様な発電設備を知ってもらおう機会にした」と話した。(吉野仁士)